

2018年11月28日

高等教育キーパーソン各位

地域科学 KKJ セミナーニュース 500
多様な大学と多彩な高校生との“出会い”—
高大接続・大学入試の新パラダイムを拓く
～ AP の明確化／選抜方式（一般・推薦・AO 等）の再設計 ～
ご参画・ご派遣のお願い

今次の高大接続・大学入試改革シナリオに係る主要な論点については、ほぼ出尽くしたと言えましょう。今、国・公・私立の各個別大学・学部等に問われるのは、いかに自立的に賢明な入学選考方式を再設計し、高校生・社会にアピールするかであります。よりベターな選択に向けた判断材料を提供すべく、本セミナーを企画しました。

まずは、アドミッションポリシーを具体的かつ明確なメッセージとして表明するとともに、実現のための入学選考方式を創意工夫し、より具体的に明示することです。ルールがオープンであれば、各大学・学部等の自由度は高いものといえましょう。

初等中等教育の軸と高等教育の軸は本質的にズレており、その非連続をいかに接続するかが最大の課題です。大学教育への適性把握は本来的に難しい事柄・領域であります。高校からの調査書や高校までの学習・体験歴等のポートフォリオを尊重するとともに、大学時代に、新たに何をしたいのかの“志や夢”について、受けとめる選考でありたいと考えます。

多彩な高校生の実像を身近で知り得る友人・知人・教師からの推薦文という推挙文化の開拓も、有効かもしれません。多面的・総合的評価の素材として活用してみたいものです。

しかしながら、大学入試はあくまでも入口でしかありません。とにかく入学した学生にキチンと向き合い、学修へのモチベーションを高め、知的好奇心に火をつけることが肝要となります。

時代と世界の大変革期において、高大接続の最先端におられる4人のベスト講師の論展と質疑応答の場に、ご参画くださいませ。

パンフレット版は、下記よりご覧いただけます。

<http://chiikikagaku-k.co.jp/kkj/seminar/h301214.pdf>